

院内委員会・部会 活動報告書

委員会名	2025 年度 海老名総合病院 倫理委員会		
開催日時	2025 年 4 月 15 日 (火) 17 時 00 分~18 時 00 分	場所	中会議室 1 本館 4 階 (旧 4 東 南側)
委員会目的 (規程より引用)	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院において行う、人を対象とする医学系研究及び医療行為について、ヘルシンキ宣言、厚生労働省の定める医学系研究に関する倫理指針及びそれに基づき制定された海老名総合病院倫理規程に則り適正に行われることを目的とする。		
病院長に報告すべき 決定事項 (答申)	①	なし	
審議内容	①	受付番号 新規 No.451 申請者 海老名総合病院 循環器内科 経皮左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究：J-LAAO ・アブレーション治療の実績を踏まえ、カテーテル治療の塞栓リスクを下げる治療を始める予定 ・日本人の左心耳のサイズや形状などの情報を得るための多施設レジストリー研究への参加が目的 ・レジストリー研究はオプトアウト方式で実施予定であり、個別同意は現時点では想定されていない ・処置の同意書は作成中のため完成次第共有する →レジストリーは承認。個別同意に関しては作成後提出 受付番号 新規 No.452 申請者 海老名総合病院 リハビリテーション科 V-VECMO 患者に対するリハビリテーション効果の後方視調査 ・呼吸循環が不安定な患者に対する人工肺治療とリハビリテーション後の効果に関する後ろ向き研究を提案 ・研究のために取得する情報は診療で取得したものを利用する ・オプトアウトについての方法についての議論があり、既存情報の二次利用の場合はオプトアウト方式が良いが、研究終了日の設定には注意が必要との指摘があった。 →研究終了日と相談窓口の期限を統一し承認 受付番号 新規 No.453 申請者 海老名総合病院 看護部救急救命士 院内救急救命士による特定行為実施の現状とタスクシフトの成果 ・院内救急救命士による特定行為実施のプロセスと成果を明らかにするため、個人情報保護に配慮した横断的研究を提案 →承認	

院内委員会・部会 活動報告書

		受付番号 新規 No.454 申請者 海老名総合病院 血液内科 急性骨髄性白血病におけるベネトクラクスを用いた化学療法の後方視的検討 ・当院のベネトレクスタを用いた化学療法のデータを解析する研究を提案 2021年3月23日～2025年2月28日までの患者さんを対象とし、通常診療で得られるデータを使用する ・研究に関する情報公開について議論。対象者には亡くなっている患者さんも含め約60名と想定。診察室の掲示やホームページへの掲載などオプトアウト方式が適切との結論 →承認
その他		【院内委員のみ】その他 ① 倫理委員会への報告症例（添付資料参照） 看護部 多職種で倫理的問題について話し合う土壌が少しずつ形成されてきている ② 各ワーキンググループより報告 （1）DNAR 指針の作成（添付資料参照） 血液内科 DNAR に関する文書の表現方法や言葉遣いがまちまち。本人の意思か家族の意思かの記載を含めるテンプレート作成を検討 （2）終末期医療指針の策定（人生の最終段階）（添付参照）看護部 キックオフミーティングを開始。仕組みづくりや教育を提案 （3）脳死判定・臓器提供検討チーム 看護部 臓器移植事業推進の協力病院として当院が正式に承認され、オンラインでの事業説明会に参加予定 （4）倫理コンサルテーションチーム（添付参照） 看護部 運営規定とコンサルテーションチームの依頼フローを作成。申請可能時間は平日8:30-17:00に設定 （5）オプトアウトの推進と承認方法 薬剤科 オプトアウトで良いかの判断基準を整理する 医薬品の適応外使用について現在40例ほど確認されており調査を継続中 研究における同意取得方法（オプトアウトか個別同意か）の整理と、ホームページに掲載する研究案件の選定基準についての検討が必要
出席者		山際武志、高垣智紀、滝原崇久、和地いつみ、高田充美、内海里沙、木村真美、疋田麻衣子、角田和博、菅田友紀、松山恵子、菅野真菜、棚瀬慎治（弁護士外部委員）、柳田理恵（海老名市副市長外部委員）、森朋有（東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学領域准教授外部委員） 戸田知恵
欠席者		小林智範、澁谷由希、兼久奈己、藤井拓海